

善哉
よきかな

2018年春季特別展
猿さる楽がくと面おもて

—大和・近江 および 白山の周辺 から—

Sarugaku Masks:
Shaping the Culture of Noh

2018 3.10 sat - 6.3 sun

MIHO MUSEUM

〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷300 TEL.0748-82-3411 <http://miho.jp>

中央:「旧金剛宗家伝来 翁(白式尉)」〔重要文化財〕三井記念美術館蔵 展示: 4/10～5/6
右:「紅地花唐草入菱文唐織能装束」(部分)〔重要文化財〕政所八幡神社蔵 展示: 4/10～5/6

イベント情報

詳細はホームページをご覧ください <http://miho.jp>

「能楽ワークショップ」能の実演とお話し

講師：片山九郎右衛門師（観世流能楽師）
 ●日時：4月29日(日) 14:00～15:30
 ●会場：南レクチャーホール ●定員：100名
 ●予約方法：・4/29ワークショップ希望・氏名・住所・電話番号・メールアドレス・参加人数を明記して information@miho.jpまで メール送付



講演会「面のおもしろさ」

講師：伊東史朗（本展監修者、MIHO MUSEUM研究顧問、和歌山県立博物館館長、京都国立博物館名誉館員）
 ●日時：4月22日(日) 13:30～15:00
 ●会場：南レクチャーホール ●定員：100名
 ●予約不要：当日美術館棟受付にて整理券配布

シンポジウム「猿楽と面の進展—各地に残る面から」

コーディネーター：高梨純次（公益財団法人 秀明文化財団参事）
 パネリスト：各地の研究者数名を予定
 ●日時：5月13日(日) 13:30～15:30
 ●会場：南レクチャーホール ●定員：100名
 ●予約不要：当日美術館棟受付にて整理券配布

ギャラリートーク「猿楽と面」

学芸員：桑原康郎
 ●日時：3月24日(土) / 4月28日(土) / 5月19日(土)
 13:00～14:00、6月2日(土) 14:00～15:00
 ●予約不要：当日美術館棟エントランス集合
 ※上記いずれも参加無料（入館料要）

子ども向けプログラム

「子どものアトリエ」

「古代アッシリアのレリーフ」 3月25日(日) / 5月20日(日)
 「ローマのモザイク」 4月8日(日)
 いずれも13:30～16:00
 ●小学生対象 ●定員：10名 ●材料費：500円
 ●参加する子どもと引率者2名まで入館料無料
 ●定員になり次第締切
 ●お申込：教育普及担当
 TEL 0748-82-8036 FAX 0748-82-2834

春のコンサート

「情熱のピアニスト 熊本マリ・リサイタル ～スピリチュアルワインとともに～」

●日時：5月19日(土) 15:00～16:30
 ●会場：南レクチャーホール ●定員：100名
 ●参加費：一般 7,000円
 MIHO MUSEUM友の会会員 6,000円
 ※料金には入館料、コンサート鑑賞、スピリチュアルワイン(グラス)を含むドリンク、消費税が含まれています。
 ●予約・問合せ：広報担当 TEL 0748-82-3411



©Shimokoshi Haruki

次回予告

2018年夏季特別展 2018年6月30日(土)～8月26日(日)
 赤と青のひ・み・つ
 —おとなも子どもも遊んでみよう！色いろイロの世界(仮称)

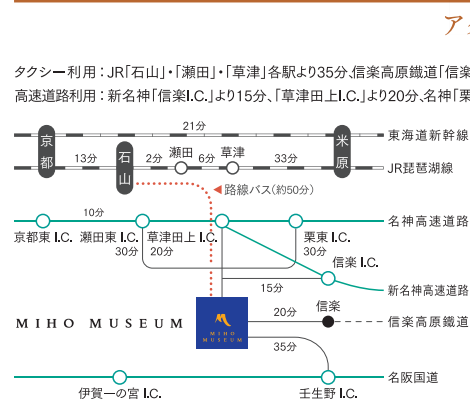


魚形容器 東地中海地域あるいはイタリア 1世紀 ガラス

重要文化財80点、総数350点にのぼる
 秘蔵の古面が勢揃い！
 「猿楽」とは、能と狂言で構成される現在の能楽の古称です。その起源は、大陸から伝来した「散楽」に由来し、日本古来の芸能と融合しながら完成度の高い歌舞劇へと進化してきています。田楽や猿楽など多くの座が競い合い、また影響しあう中で、室町時代初期に観阿弥、世阿弥によって大成された「能」「狂言」の様式は、日本を代表する芸能のひとつである「能楽」として、現在に受け継がれています。
 本展覧会は、平安時代後期、鎌倉時代の古面に始まり、南北朝から室町、安土桃山時代の大成期にわたる350面（うち重要文化財80面）の「面」を通して、中世の人々が熱狂した「猿楽」の世界を、主に彫刻史の観点から、文化芸能史、文学史の側面も絡めながら、紐解いていきます。（会期中展示替えあり）



- ①「追儺」 桃山時代 1581年(天正9) 滋賀県・石山寺蔵 展示:5/8～6/3 /
- ②「若女」[重要文化財] 鎌倉時代 1291年(正応4) 岩手県・中尊寺蔵 展示:4/10～5/6 /
- ③「尉」[重要文化財] 室町時代 1430年(永享2) 奈良県・天河神社蔵 展示:5/8～6/3 /
- ④「三番叟」 安土桃山時代 滋賀県・日吉大社蔵 展示:4/10～5/6 /
- ⑤福太夫[滋賀県指定] 室町時代 1508年(永正5) 滋賀県・油日神社蔵 展示:3/10～4/8 /
- ⑥「紅地花唐草入菱文唐織能装束」[重要文化財] 安土桃山時代 滋賀県・[政所]八幡神社蔵 展示:4/10～5/6 /
- ⑦「聴見形」[南越前町指定] 室町時代 福井県・[南条]熊野神社蔵 展示:3/10～4/8 /
- ⑧「財面」[重要文化財] 室町時代 1371年(応安4) 岐阜県・長瀬白山神社蔵 展示:3/10～4/8 /
- ⑨「般若」 室町時代 1558年(永祿1) 兵庫県・篠山能楽資料館蔵 展示:4/10～4/22 /
- ⑩「喰食」[重要文化財] 安土桃山時代 1616年(元和2) 岐阜県・[長瀬]白山神社蔵 展示:5/8～6/3 /
- ⑪「祖父」[重要文化財] 室町時代 奈良県・天河神社蔵 展示:3/10～4/8 /
- ⑫「乙」[重要文化財] 安土桃山時代 岐阜県・[関]春日神社蔵 展示:5/8～6/3



MIHO MUSEUM 友の会会員募集中

アクセス

タクシー利用：JR「石山」・「瀬田」・「草津」各駅より35分、信楽高原鐵道「信楽駅」より20分
 高速道路利用：新名神「信楽I.C.」より15分、「草津田上I.C.」より20分、名神「栗東I.C.」/京滋バイパス「瀬田東I.C.」より各30分、名阪国道「壬生野I.C.」より35分

交通 ※バス時刻は変更されることがあります。

JR琵琶湖線 石山駅 発 ▶ 帝産バス「MIHO MUSEUM 行き」(所要時間50分)	平日	9:10	10:10	11:10	12:10	13:10
	土日祝	9:10	9:50	10:10	11:10	12:10 13:10 14:10
MIHO MUSEUM 発 ▶ 「JR 石山駅 行き」		11:00	12:00	13:00	14:00	15:00 16:07 17:14
信楽高原鐵道 信楽駅 発 ▶ 「田代・畑・陶芸の森ルート」(所要時間20分)		10:50	14:50			
MIHO MUSEUM 発 ▶ 「信楽駅」方面		11:10	12:20	13:30	15:10	

お問い合わせ：TEL. 0748-82-4788(直)または0748-82-3411(代) MIHO MUSEUM 友の会事務局まで

会場

主催 MIHO MUSEUM、 朝日新聞
 後援 滋賀県、滋賀県教育委員会、NHK 大津放送局、 NHK BS1放送、エフエム京都

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)
 休館日 月曜日 ※4月30日は開館、5月1日は休館
 入館料 一般1,100円、高・大生800円、小・中生300円
 (20名以上の団体は各200円割引)

〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷300
 Tel.(0748)82-3411 Fax.(0748)82-3414
<http://miho.jp> (パソコン、携帯電話共通)

MIHO MUSEUM

MIHO MUSEUM 友の会会員募集中